

知識社会の出現は世界中にイノベーション政策の再考察を必要とした。M. ポーターの研究以降、一般的に地域アクターをクラスターに集めて活発なネットワークを構成することが優先されてきた。ヨーロッパも日本と同じく例外ではない。しかし、競争力を立て直す、あるいは衰退しつつある地域を活性化するという目的を達成するためには、各国のアジェンダには共通の優先事項がある：技術移転、起業支援とベンチャーの育成、中小企業内あるいは中小企業向けの知的財産の発展などである。今回のシンポジウムでは以上のような問題を中心に討論を行い、ヨーロッパとその諸地域（ローヌ・アルプ地域圏やワロニアなど）および日本と各地方における政策や具体的な活動を分析することを目的とする。

【共催】

- ◎フランス外務省 -CNRS 国立在外共同研究所 UMFRE 19、日仏会館
- ◎東北大学大学院法学研究科、グローバル COE プログラム
- ◎東京大学大学院経済学研究科、ものづくり経営研究センター（グローバル COE プログラム）

【協力】

- ◎リヨン高等師範学校、リヨン東アジア研究所（リヨン大学 UMR CNRS 5062）
- ◎リヨン中央理工学校（エコール・サントラル）

【後援】

- ◎在日フランス大使館
- ◎在日ベルギー王国大使館
- ◎ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁
- ◎ローヌ・アルプ地方
- ◎在日フランス商工会議所
- ◎フランス国立科学研究センター

問い合わせ + アクセス

日仏会館フランス事務所

フランス外務省-CNRS 国立在外共同研究所 UMFRE 19

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 3-9-25

JR 山手線恵比寿駅東口・東京メトロ日比谷線恵比寿駅から
徒歩約 10 分

TEL : 03-5421-7641
FAX : 03-5421-7651
HP : www.mfj.gr.jp

シンポジウムへの参加は自由・無料です。
問い合わせ・参加申し込み contact@mfj.gr.jp
シンポジウムに関する学術的な問い合わせ ylecler@mfj.gr.jp



国際シンポジウム
於 日仏会館ホール（東京）
同時通訳付き

**地域
イノベーション政策
と
中小企業**

2010年2月3日・4日

イメージ：セドリック・フェブルダグシエ // デザイン：宮崎栄ジュニア
問い合わせ 日仏会館フランス事務所 [フランス外務省-CNRS 国立在外共同研究所 UMFRE 19] // 住所 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25 //
TEL 03-5421-7641 // FAX 03-5421-7651 // HP www.mfj.gr.jp // シンポジウムへの参加は自由・無料です // 問い合わせ・参加申し込み contact@mfj.gr.jp //
シンポジウムに関する学術的な問い合わせ ylecler@mfj.gr.jp //

**地域ダイナミズムをサポートするために
技術移転を振興し、
アントレプレナーシップとベンチャー起業を強化する。**

共催



後援



2010年2月3日(水)

8:30 / 参加者受付

9:00-9:50 / 開会セッション

【司会】アンペール・マルク (UMIFRE19 所長、日仏会館)

◎挨拶 アンペール・マルク

◎開会スピーチ フォール・フィリップ (駐日フランス大使) 及びマリク・ヨハン (駐日ベルギー王国大使)

◎基調発表 「地域格差とイノベーション政策：日本とフランスにおける中小企業と起業」レクレル・イブリン (UMIFRE19、日仏会館、リヨン大学、政治学院、東アジア研究所)

10:00-11:30 / セッション 1

ヨーロッパと日本におけるイノベーション政策：超国家的/国家的枠組みから地域応用まで

【議長 / 討論者】伊地知寛博 (成城大学教授)

◎「日本の科学技術・イノベーション政策」永野博 (政策研究大学院大学教授、JST プロジェクトリーダー)

◎「ヨーロッパにおけるイノベーション戦略、競争力クラスターとワロン地域の位置づけ」カブロン・アンリ (ブリュッセル自由大学)

◎「内発的発展をいかに促進するか? ~東北地方のイノベーション政策の回顧と展望」福嶋路 (東北大学准教授)

◎「ローヌ・アルプ地域圏の政策：クラスター、中小企業、国際的な共同発展の新たな形式」バイヨ・ピエール=ジャン (ERA1、ローヌ・アルプ地方)

11:30-11:50 / 討論

13:00-14:20 / セッション 2.1

技術移転から起業へ

【議長】ヴァンポテルスベルグ・ブリュノ (ブリュッセル自由大学、BRUEGEL)

◎「地域産学連携と国際協力：Elyt-Lab 共同研究所の役割」庄子哲雄 (東北大学教授、Elyt-lab 共同所長)

◎「東北大学 NICHe における新産業創出の取り組み」長谷川史彦 (東北大学教授、未来科学技術共同研究センター (NICHe) 副センター長)

◎「日本における大学から産業への科学ライセンスング」渡部俊也 (東京大学教授、RCAST)

◎「日本におけるインキュベーション：東京大学におけるインキュベーター (東京大学アントレプレナープラザ) の事例」菅原岳人 (東京大学助教、DUCR)

14:30-15:50 / セッション 2.2

技術移転から起業へ

【議長】フォール・ギ (東アジア研究所所長)

◎「技術移転とネットワーク：ワロン地域の事例」カピオー・ヴェロニク (ブリュッセル自由大学、ワロン地域科学技術振興局局長)

◎「フランスとローヌ・アルプ地方における技術移転」(仮題) ルガル・マルク (リヨン大学技術移転室長)

◎「CREALYS、西ローヌ・アルプ地方のインキュベーター：フランスの公的インキュベーター」カマル・ナディア (CREALYS 社長)

◎「日本におけるベンチャーとエンジェル：フランスの経験との比較を踏まえて」内田真人 (成城大学教授)

16:10-18:10 / ラウンド・テーブル

技術移転から起業へ

【司会】ギスレン・クレール (ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁日本代表)

◎〈ベンチャー起業経験者による紹介〉フェラン・パスカル (FLUOREM)、小口しのぶ (株式会社アップストリーム・インフィニティ)、阿部敬悦 (東北大学教授)

◎〈パネリスト〉庄子哲雄、菅原岳人、カピオー・ヴェロニク、カマル・ナディア、ルガル・マルク

◎参加者との総合討論

2010年2月4日(木)

9:00-10:20 / セッション 3

イノベーションと知的財産の枠組み

【議長 / 討論者】嶋野邦彦 (特許庁総務部企画調査課・課長)

◎「フランスと日本における知的財産の法的枠組み」ジャリュゾ・ベアトリス (リヨン大准教授、政治学院、東アジア研究所)

◎「ヨーロッパの特許制度：機会を逸し続けた 50 年」ヴァンポテルスベルグ・ブリュノ (ブリュッセル自由大学、BRUEGEL)

◎「日本におけるイノベーション振興のための知的財産政策」隅蔵康一 (政策研究大学院大学教授)

◎「日本における大学パテントポートフォリオ」金間大介 (科学技術動向研究センター研究員、MEXT-NISTEP) と奥和田久美 (科学技術動向研究センター長、MEXT-NISTEP)

10:20-10:40 / 討論

10:55-12:05 / セッション 4

イノベーションと企業戦略

【議長 / 討論者】本橋一之 (東京大学教授、RIETI 研究員)

◎「日本企業のライセンスング」中野剛治 (東洋大学経営学部専任講師、東京大学特任講師) と高橋伸夫 (東京大学教授)

◎「多作な発明家：どこの誰なのか? 米国の特許データベースに基づいた 5ヶ国での結果」ルバ・クリスチャン (リヨン第 2 大学教授、LEFI)

◎「日本におけるコーポレート・ベンチャリングの動き—大企業とベンチャーの Win-Win が発展の鍵」前田昇 (青山学院大学教授)

◎「大企業および小企業に対する大学の役割：ワロン地域の事例」マルシアル・ジョセフ (リエージュ大学教授、分子生物学・遺伝子工学研究所所長)

12:15-12:35 / 討論

13:45-15:25 / セッション 5

地域の活性化と中小企業：

イノベーションと人材育成の挑戦

【議長 / 討論者】徳丸宣徳 (名古屋大学教授)

◎「東北地方の中小企業における産業間協力の推進について」大滝精一 (東北大学教授、地域イノベーション研究センター・センター長)

◎「日本における地域中小企業の知財戦略支援政策」塚越雅信 (インクタンク・ジャパン株式会社代表取締役)

◎「産業を越えたものづくり知識の共有：東大インストラクタースクールの取り組み」、藤本隆宏 (東京大学大学院経済学研究科教授、ものづくり経営研究センター・センター長) と福田隆二 (GCOE プログラム、東京大学ものづくり経営研究センター特任研究員)

◎「日本におけるアントレプレナーシップの発展：展望と挑戦」ドゥッブルー・フィリップ (創価大学教授、フランス外務省-CNRS 国立在外共同研究所 UMIFRE19 招聘研究員)

◎「日本のローカルエリア中小企業でのイノベーション」中村圭介 (東京大学社会科学研究所・副所長) (仮題)

15:25-15:45 / 討論

16:00-18:00 / ラウンド・テーブル

イノベーション政策と中小企業への影響：ベンチャーの起業、クラスター、地域のダイナミズム

【司会】モリエ・ジャン=ミシェル (エライ・ジャパン 駐日代表、ローヌ・アルプ地方)

◎〈紹介〉東北地方政策担当者、文部科学省地域イノベーション政策担当者 (詳細は後日発表します)

◎〈パネリスト〉カブロン・アンリ、バイヨ・ピエール=ジャン、奥和田久美、大滝精一

◎参加者との総合討論

18:00-18:35 / 総括

◎アンペール・マルク (UMIFRE19、日仏会館)

◎マルヴァル・ジャック (在日フランス大使館産業技術・イノベーション特別任務官)

◎大西仁 (東北大学法学研究科教授、GCOE) 閉会挨拶及び 2月5日の東北大学 (仙台) 見学の案内